(その三)

工場又は事業場の名称	日本曹達株式会社 千葉工場

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1		対策 2		対策 3		対策 4		対策 5		対策 6		対策 7		対策 8		対策 9		対策10	
3	1	5	1	5	2	5	3												

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1		対策 2		対策 3		対策 4		対策 5		対策 6		対策 7		対策 8		対策 9		対策10	
3	1	5	1	5	2	5	3												

（その三）

工場又は事業場の名称	住友化学株式会社 千葉工場

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1) の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
３　２	５　２	５　６	５　９						

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策　１
ｎ－ヘキサンについて蓄熱燃焼設備の設置工事が平成２１年５月末に完成。
対策　２
①高圧ポリエチレン工場のサイロの排出ベント配管をボイラーの燃焼空気に接続して酢酸
ビニルを燃焼させている。平成２０年２月より処理を開始。
②高圧ポリエチレン工場の酢酸ビニルタンクのベントラインをフレアーラインに接続して
焼却する工事が完成。平成２４年３月から使用開始。
③高圧ポリエチレン工場のエチレン大気放出の削減（フレアーラインに接続して焼却）
平成２３年１０月に接続ノズルの設置完了後、使用開始。
対策　３
４年に１回の工場の定期修理時（２０２２年２月）プロピレンタンク（半冷凍タンク）に
おいて定期修理時にフレアー並びに冷凍機の冷却水が２週間停止するため、現状のシステム
では４年毎にＶＯＣを大気に放出。これに対し以下の対策を実施。
冷凍機　１基を設置（冷却水使用でない空冷式を採用）
使用開始：２０２１年１０月

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1) の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
５　２	５　６	５　９							

（その三）

工場又は事業場の名称	三井化学株式会社 市原工場

（2）　揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

（1）の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
5 1	5 2	5 3	5 4	5 5					

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

備考　3（2）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

（1）の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
2 3	3 1	3 2	3 4	5 1	5 2	5 3	5 4	5 5	

（その四）

工場又は事業場の名称	三井化学株式会社 市原工場

3　基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

（1）　基準年度における処理回収率等

	基準年度
	平成１２年度
使用量（kg／年度）（１億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。）	5.3×10^9
排出等の量（kg／年度）	320000
処理回収率（%）	10.0

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数（基）
0

備考

1　この項の提出は任意であること。

2　基準年度は、２（1）の基準年度と一致させること。

3　使用量及び排出等の量は、２（1）の基準年度におけるものと一致させること。

4　処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字２桁で記載すること。

{（使用量－排出等の量）／使用量}×100

（2）　基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
2.3	3.1	3.4	5.1	5.2	5.3	5.4			

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

備考　この項の提出は任意であること。

(その三)

工場又は事業場の名称	株式会社プライムポリマー 姉崎工場

(2)揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
5 3									

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

競争力強化の一環として、製造施設の廃止や稼働調整等を行っており、VOC排出量は基準年度と比較して50%以上の削減を達成している。

以上

備考 3(2)に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
5 3									

（その四）

工場又は事業場の名称	株式会社プライムポリマー 姉崎工場

3 基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1) 基準年度における処理回収率等

	基準年度 平成12年度
使用量 (kg／年度) (1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。)	. 7.2 ×10 08
排出等の量 (kg／年度)	33000000.
処理回収率 (%)	100.

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数 (基)
0

備考

1 この項の提出は任意であること。
2 基準年度は、2(1)の基準年度と一致させること。
3 使用量及び排出等の量は、2(1)の基準年度におけるものと一致させること。
4 処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。
{(使用量－排出等の量)／使用量}×100

(2) 基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
53									

その他(19, 29, 39, 49, 59, 99)を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考 この項の提出は任意であること。

(その三)

工場又は事業場の名称	佐藤産業株式会社 成東工場

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1　2	2　1	2　3							

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1　2	2　1	2　3							

（その三）

工場又は事業場の名称	コスモ石油株式会社 千葉製油所

（２）　揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

（１）の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
4　1	5　2	5　9							

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

1. 対策1として原油、揮発油（製品ガソリン、中間ガソリン、ナフサ等）、ＪＥＴ燃料油のタンクは
全て浮き屋根式あるいは内部浮き屋根式であり、ＶＯＣ対策は本条例の基準年度以前に全て
完了しており、これらのＶＯＣ対策済みタンクの維持管理を確実に実施する。
2. 対策2の第１陸上出荷場（ローリー出荷）及び第2陸上出荷場（タンク貨車出荷）における揮発油の
積み込み時に発生するＶＯＣ対策として、ＶＯＣ回収装置（吸収溶剤灯油）を既に設置しており
（第1出荷：昭和63年、第2出荷：平成2年）現在はこれを維持・管理している。
3. 対策3のその他として、ＶＯＣ回収装置でのＶＯＣ回収量を少しでも上げる為に、夏期には当該
設備に冷却散水を行いＶＯＣ排出抑制に取り組んでいる。
また、外気温が30℃以上となる場合はナフサ等の一部のタンクについてルーフへ冷却散水し
ＶＯＣの発生を抑制している。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

（１）の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
4　1	5　2	5　9							

（その四）

工場又は事業場の名称	コスモ石油株式会社 千葉製油所

3　基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

（1）　基準年度における処理回収率等

	基準年度
	平成12年度
使用量（kg／年度）（1億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。）	9.7×10^09
排出等の量（kg／年度）	390000
処理回収率（%）	100

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数（基）
53

備考

1　この項の提出は任意であること。

2　基準年度は、2（1）の基準年度と一致させること。

3　使用量及び排出等の量は、2（1）の基準年度におけるものと一致させること。

4　処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字2桁で記載すること。

｛（使用量－排出等の量）／使用量｝×100

（2）　基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
41	52	59							

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

対策1：原油、半製品、製品の揮発性の高い油種の貯蔵タンクは、全て浮き屋根式あるいは内部浮き屋根式タンクを使用しており、現在、これらの維持・管理を継続している。
対策2：陸上出荷場（第1出荷場：ローリー出荷、第2出荷場：タンク貨車出荷）において、揮発油の積み込み（出荷）時に発生するＶＯＣを回収すべくＶＯＣ回収装置を既に設置しており、現在も、これら設備の維持・管理を継続している。
対策3：対策2を少しでも改善する為、夏期においてはＶＯＣ回収装置への冷却散水を行いＶＯＣ排出抑制に努めている。 また、外気温が30℃以上となる場合はナフサ等の一部タンクのルーフへ冷却散水しＶＯＣの発生を抑制している。

備考　この項の提出は任意であること

(その三)

工場又は事業場の名称	大洋塩ビ株式会社 千葉工場

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1) の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
２９	３１	５１	５９						

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

【対策１】について

・安定操業により現状を維持する。

【対策４】について

・廃液処理塔を設置し、スチームストリッピングにより排水中の塩ビモノマーを回収する。

イの【対策５】について

・タンク開放点検前に水張りを実施し、塩ビモノマーガスを回収しました。

・タンク開放点検前に窒素で置換し、塩ビモノマーガスを回収しました。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1) の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
２９	３１	５１	５９	９９					

（その三）

工場又は事業場の名称	東洋スチレン株式会社 五井工場

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1) の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
29	31								

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

【対策１】について

生産工程からの発生（揮散）を減少させる。（安定操業に努める）

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1) の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
29	31								

(その三)

工場又は事業場の名称	横山容器工業株式会社 千葉工場

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1		対策 2		対策 3		対策 4		対策 5		対策 6		対策 7		対策 8		対策 9		対策10	
2	1	3	3	9	1														

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1		対策 2		対策 3		対策 4		対策 5		対策 6		対策 7		対策 8		対策 9		対策10	

(その三)

工場又は事業場の名称	富士電機株式会社 千葉工場

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 1	2 1	2 9							

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策１について
溶剤の低含有塗料による製品塗装の適用拡大
対策２について
溶剤缶の揮発防止蓋の取り付けと励行（指導と実施状況の監視）
対策３について
上塗り残塗料の転用（中塗り塗料として使用率の向上、事業所設備の塗装）
廃シンナーの回収（リサイクル事業者に売却）

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 1	2 1	2 9							

(その三)

工場又は事業場の名称	宮地エンジニアリング株式会社 千葉工場

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1		対策 2		対策 3		対策 4		対策 5		対策 6		対策 7		対策 8		対策 9		対策10	
1	1	2	1	2	2	3	4	5	1										

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1		対策 2		対策 3		対策 4		対策 5		対策 6		対策 7		対策 8		対策 9		対策10	
1	1	2	1	2	2	3	4	5	1										

（その四）

工場又は事業場の名称	宮地エンジニアリング株式会社 千葉工場

3　基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)　基準年度における処理回収率等

	基準年度 平成１５年度
使　用　量 (kg／年度) （１億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。）	１００００００.
	．　×１０
排出等の量 (kg／年度)	７６０００.
処理回収率 (%)	２４.

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数（基）

備考
1　この項の提出は任意であること。
2　基準年度は、２(1)の基準年度と一致させること。
3　使用量及び排出等の量は、２(1)の基準年度におけるものと一致させること。
4　処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字２桁で記載すること。
{（使用量－排出等の量）／使用量}×１００

(2)　基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
３４	５１								

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　この項の提出は任意であること。

(その三)

工場又は事業場の名称	日鉄ドラム株式会社 千葉工場

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	2 2	2 3	5 6	9 1					

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	2 2	2 3	5 6	9 1					

（その四）

工場又は事業場の名称	日鉄ドラム株式会社 千葉工場

3　基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)　基準年度における処理回収率等

	基準年度 平成１２年度
使　用　量 （kg／年度） （１億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。）	22000. .　×１０
排出等の量 （kg／年度）	20000.
処理回収率 （%）	~~9.1~~ 91.

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数（基）

備考
1　この項の提出は任意であること。
2　基準年度は、２(1)の基準年度と一致させること。
3　使用量及び排出等の量は、２(1)の基準年度におけるものと一致させること。
4　処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字２桁で記載すること。
｛（使用量－排出等の量）／使用量｝×１００

(2)　基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
21	22	23	91	94					

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　この項の提出は任意であること。

（その三）

工場又は事業場の名称	五井化成株式会社 本社工場

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
5 2	5 9								

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

対策について

平成19年度5月、VOC吸収装置を設置。

対策2の内容、重油吸着。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
5 2	5 9								

（その四）

工場又は事業場の名称	五井化成株式会社 本社工場

3　基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)　基準年度における処理回収率等

	基準年度 平成12年度
使　用　量 （kg／年度 ） （１億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。）	１５０００００． ．×１０
排出等の量 （kg／年度）	１１０００．
処理回収率 （%）	１００．

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数（基）

備考

1　この項の提出は任意であること。
2　基準年度は、２(1)の基準年度と一致させること。
3　使用量及び排出等の量は、２(1)の基準年度におけるものと一致させること。
4　処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字２桁で記載すること。
{（使用量－排出等の量）／使用量}×１００

(2)　基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
５２	５９								

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　この項の提出は任意であること。

（その三）

工場又は事業場の名称	日産化学(株) 袖ヶ浦工場五井製造所

（２） 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

（１）の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
2 9	5 2								

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

１．下記の工程で製造する製品で、溶媒を回収・再利用することで購入量を低減した。
原料→溶媒の1次置換→反応→溶媒の２次置換→調整→製品
（１次置換及び２次置換とも同じ溶媒である。）
従来「溶媒の２次置換」で留出される溶媒を廃棄していたが、この溶媒中の
水分及び反応溶剤の残渣量を管理することで次バッチの１次置換に使用する
ことが可能となった。今後も継続運用します。

備考 ３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

（１）の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
2 9									

(その三)

工場又は事業場の名称	ﾊﾞｲｵﾏｽ燃料供給有限責任事業組合　JBSL千葉ﾀｰﾐﾅﾙ

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
4 1									

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

バイオマス燃料の製造・供給は、国の「京都議定書目標達成計画」の実現のための施策として、石油連盟が2010年度からバイオETBEを年間84万KL程度導入し、国のＣＯ2排出削減に貢献するための事業です。バイオETBEの使用は、カーボンニュートラル効果により地球温暖化対策には寄与しますが、バイオETBEが揮発性有機化合物に該当するために内部浮屋根式タンクに貯蔵しＶＯＣ排出量を削減する等の対策を実施しています。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
4 1									

（その三）

工場又は事業場の名称	宇部丸善ポリエチレン株式会社

（2） 揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア 計画年度に実施する対策の内容

（1）の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
5 4	9 1								

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

備考 3（2）に記載する対策も含めて記載すること。

イ 目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

（1）の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策1	対策2	対策3	対策4	対策5	対策6	対策7	対策8	対策9	対策10
3 1	3 9	5 4	9 1						

(その三)

工場又は事業場の名称	不二ライトメタル株式会社 資材本部　東資材生産部

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1)の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	9 1								

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1)の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
2 1	9 1								

（その三）

工場又は事業場の名称	ダウ・東レ㈱ 千葉工場

（２）　揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

（１）の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
1　1	2　1	2　3	2　9	9　9					

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

29の補足

・揮発性有機化合物の仕込み、充填作業の密閉化を計り、VOC排出量を削減する様に対策をする。

99の補足

・品種切替時の洗浄、乾燥による大気への排出を抑制する為の改善を図る。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

（１）の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
1　1	2　1	2　3	2　9	9　9					

（その三）

工場又は事業場の名称	ＤＩＣグラフィックス株式会社千葉工場

（2）　揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

（1）の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
1　1	2　1	2　3	3　1	4　1	5　1	5　2	5　4	5　6	9　1

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

備考　3（2）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

（1）の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
1　1	2　1	2　3	3　1	4　1	5　1	5　2	5　4	5　6	9　1

（その四）

工場又は事業場の名称	ＤＩＣグラフィックス株式会社千葉工場

3　基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

（1）　基準年度における処理回収率等

	基準年度
	平成12年度
使用量（kg／年度）（１億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。）	1100000 ~~10920000~~ .0
	×10
排出等の量（kg／年度）	2400 ~~2350~~ .0
処理回収率（%）	100 .0

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数（基）
0

備考

1　この項の提出は任意であること。

2　基準年度は、２（1）の基準年度と一致させること。

3　使用量及び排出等の量は、２（1）の基準年度におけるものと一致させること。

4　処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字２桁で記載すること。

｛（使用量－排出等の量）／使用量｝×100

（2）　基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策１	対策２	対策３	対策４	対策５	対策６	対策７	対策８	対策９	対策10
11	21	23	31	41	51	52	54	56	91

その他（19、29、39、49、59、99）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記載すること。

備考　この項の提出は任意であること。

（その三）

工場又は事業場の名称	日本ホルマリン工業株式会社 千葉工場

（２）揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

ア　計画年度に実施する対策の内容

(1) の計画年度の削減率を達成するための対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 1	2 1	2 3	3 1	4 1	5 1	5 2	5 4	5 6	9 1

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　３（２）に記載する対策も含めて記載すること。

イ　目標年度の削減率を達成するために実施する対策の内容

(1) の目標年度の削減率を達成するため、基準年度の翌年度以降新たに実施し、又は実施した対策について、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
1 1	2 1	2 3	3 1	4 1	5 1	5 2	5 4	5 6	9 1

（その四）

工場又は事業場の名称	日本ホルマリン工業株式会社 千葉工場

3　基準年度以前から実施している揮発性有機化合物の排出等の抑制のための対策

(1)　基準年度における処理回収率等

	基準年度 平成１２年度
使用量 (kg／年度) （１億キログラムを超える場合は、下段に指数表示で記載すること。）	468000.0
	．　×１０　8
排出等の量 (kg／年度)	100.8
処理回収率 (%)	100.0

基準年度までに、浮屋根式タンク又は内部浮屋根式タンクに改造した固定屋根式タンクの基数（基）
2

備考

1　この項の提出は任意であること。

2　基準年度は、２(1)の基準年度と一致させること。

3　使用量及び排出等の量は、２(1)の基準年度におけるものと一致させること。

4　処理回収率は、次の式により算出される数値を有効数字２桁で記載すること。

{（使用量－排出等の量）／使用量}×１００

(2)　基準年度以前から実施している対策の内容

基準年度以前から実施していた対策であって、現在も実施しているものについて、別表から該当する記号を選んで記載すること。複数の対策を組み合わせて実施しようとする場合は、全ての対策について記載すること。

対策 1	対策 2	対策 3	対策 4	対策 5	対策 6	対策 7	対策 8	対策 9	対策10
11	21	23	31	41	51	52	54	56	91

その他（１９，２９，３９，４９，５９，９９）を選んで記載した場合は、対策の内容を次の欄に具体的に記入すること。

備考　この項の提出は任意であること。